

# 作新学院高等学校

## 地球環境クラブ



チームテレサ



チームガリレオ



チームコロンブス

高校生ボランティア・アワード  
2020

### 「私たちにできる地球への貢献」

学生にできる社会貢献を目指し、それぞれが3つのチームから1つを選んで所属活動しています。

#### チームテレサ

◆ボランティア系のチーム  
一人でも多くの方に笑顔になってもらえるような活動を目指しています。

#### ◆主な活動

##### 被災地・復興地支援

宮城県、広島県、愛媛県宇和島市の小中学校、愛媛県宇和島市のミカン農家の方々と交流を継続しています。また、災害発生時には、募金活動を行い、寄付を募った物資やメッセージとともに届けています。

##### エコキャップの回収

ペットボトルキャップを集め、リサイクルするとともに、ユニセフを通じ世界の子供たちにワクチンを届けています。

##### チームコロンブス

◆国際交流系のチーム  
国際交流・支援を通して世界で活躍できる人になることを目指しています。

#### ◆主な活動

##### アフリカ1万足プロジェクト

履かなくなった運動靴の寄付を募り、アフリカの靴が手に入らない地域に届けています。

##### 思い出のランドセルプロジェクト

使い終わったランドセルをアフリカの子供たちに贈り、学校に行ける環境づくりを支援しています。

##### フェアトレード

毎年の学校祭ではフェアトレードの商品を販売するブースを設けています。

##### チームガリレオ

#### ◆技術開発系のチーム

授業で学んだ知識や技術を応用した社会貢献を目指しています。

#### ◆主な活動

##### 防災かまどベンチ

普段はベンチとして、災害時は電気を使わず調理ができるかまどとして活躍します。

##### 足尾・鉱山廃水クリーンプロジェクト

地元・栃木にある足尾銅山の排水処理技術の開発の研究を進めてきました。

##### エコ発電装置の開発

学院内の雨水を利用した発電装置開発の計画が進行中です。



エコキャップの回収



1万足プロジェクト



フェアトレード



街頭募金活動

### 生徒数日本一！ 作新の力！



～エコキャップ回収、アフリカ1万足プロジェクト、創立記念日の街頭募金活動を例に～

生徒、卒業生、保護者、地域の皆さん、たくさんの協力のおかげでより良い活動ができています。

#### エコキャップの回収

平成20年度から10年以上継続して行っている活動です。ペットボトルキャップを回収し、リサイクルするとともに、ユニセフを通じワクチンなどに替え、寄付する活動です。各校舎内、自動販売機の隣など学院内に多くの回収ボックスを設置し、協力を呼びかけています。

現在、**累計900万個以上**のキャップを回収し、1万人分以上のポリオワクチンに換算すると約1万人分を寄付することができています。また、7万kgの二酸化炭素の発生を抑制できたこととなります。

#### アフリカ1万足プロジェクト

靴が手に入らないアフリカの子供たちの健康と成長をサポートするため、私たちが履かなくなった靴を届けています。生徒、保護者だけでなく、卒業生、出身中学校への呼びかけ等、活動が広がり、**1万5000足以上**をアフリカに届けることができました。



#### 募金活動

毎年の学院の創立記念日には街頭での募金活動を行っています。市街の中心部3か所程に分かれて行い、募金は、東日本大震災、台風や豪雨災害等の支援のために寄付されています。部活動の生徒も参加し、地域の方々の支援も大きく、また校内の募金活動では、生徒・保護者の多くが協力してくれています。

今後も皆さまの協力に感謝し、つながりを大切に活動していきます！

#### 継続

#### 愛媛県のみかん農家のみなさんとの交流

～相手に寄り添った形の活動～

2018年に発生した西日本豪雨災害の後、少しでも力になりたいとの思いから、募金や物資などをお届けしたことをきっかけに、愛媛県宇和島市吉田町玉津のみかん農家のみなさんとの交流が続いています。

チーム全員でメッセージを寄せ書きしたり、みかんの収穫等の作業で使っていただくための「メッセージ軍手」を送ったりしています。また、太陽の光をいっぱい浴びた玉津のみかんを届けていただくこともあり、おいしいみかんが育ち、実っていることを私たちも嬉しく思っています。

玉津のみかん農家のみなさんは、豪雨災害後、元の状態に戻す「復興」をこえた、**今まで以上に発展させる「復興」**を目指して努力されています。辛い経験を乗り越えて成長を続ける玉津のみなさんの姿に私たちも勇気づけられています。

コロナ禍で私たちの学校生活が進まなかった時には、玉津でもコロナ禍の影響がある中でも、私たちの学校生活を気にかけて下さり、私たちが励まされました。

災害発生後、状況の変化とともに必要とされる活動はどんどん変わっていきます。しかし、**風化させたくない、現地の多くの方に笑顔になってもらいたい**という思いから、私たちは**相手の方々に寄り添った形の活動を心がけ、心を尽くした応援や交流を継続**しています。

#### 地域

#### 足尾銅山についての取り組み

～地域の環境への貢献～

栃木県内にある足尾銅山は、明治時代に起きた公害以降、鉱山廃水や森林の減少が問題になってきました。

私たちは、地域の環境保護に貢献するため、チームガリレオでは**足尾・鉱山廃水クリーンプロジェクト**を、またチームテレサでは足尾の山の植樹活動に取り組んできました。

鉱山の排水処理について、現在用いられている手法では重金属を分離するのみで鉱毒だけでなく有用金属も取り除き埋め立てられています。

そこで、鉱山廃水クリーンプロジェクトでは、埋め立ての量を減らし、有用金属を回収する技術を開発しました。還元剤の利用、鉄イオンについての磁気分離という授業を発展させた研究になっています。科学研究に本格的に取り組む経験にもなり、今後の活動、学習にも活かせるものとなりました。

また、チームの垣根を越え、チームテレサでも、足尾の山を緑にすることを旨とし、毎年植樹祭等に参加し植樹を行ってきました。今まで先輩方が植えた木は、現在森を形作る一部となっています。10年前、ほとんどが茶色だった足尾の山は、今は一面が緑になり、紅葉する葉も見られるようになりました。

今後も研究、植樹活動を通して、私たちが過ごす栃木県で起こった公害について理解を深めるとともに、**地域の環境保護に貢献していきたい**と思います。



鉱山廃水クリーンプロジェクト



足尾・植樹活動



足尾・植樹活動

#### 挑戦

### 私たちにできる社会貢献を！ ～いつも誰かの笑顔のために～

どんなときも、誰かを笑顔にできるような活動をしていきたいと考えています。

コロナ禍の中で、活動は思うように進まないことが続きましたが、医療現場など最前線で闘う方々を応援したい。令和2年7月豪雨災害に遭われ私たち以上に大変な時間を過ごしている方々の力になりたい。そんな思いから「私たちにできることを！」と考え、地域の医療施設、福祉施設、フードバンク等で働く方々、令和2年7月豪雨災害で被災された熊本の方々に

- ・オンラインでの募金、物資寄付の呼びかけ
- ・休校期間中自宅でメッセージ、虹の絵を作成
- ・学校再開後授業で作ったマスクの寄付
- ・応援メッセージの継続

などの活動を行ってきました。

今後も活動を継続することでその輪を広げていくとともに、新たな活動にも挑戦し、学生として私たちができる形で社会に貢献していきます！



### 作新学院 地球環境クラブ プロフィール

活動人数 270名

活動年数 10年



学院全体として取り組んでいる活動です。学部、部活動の垣根を越えて集まった活動部員を中心に**“オール作新”**で取り組んでいます。



虹の絵は道沿いの窓に



みんなで祈りを捧げよう  
作新学院



医療従事者の方々へ

- : チームテレサ
- : チームコロンブス
- : チームガリレオ
- : 全体での活動